

6学年だより



令和2年6月17日
敦賀西小学校
第6学年 学年通信 第3号

中学校に向けて、自分で学ぶ力を身につけよう!



6月に学校が再開されてから、2週間が過ぎました。6年生として、1年生へのプレゼント渡しや委員会の活動を通して、リーダーとしての自覚が高まってきています。「信頼されるリーダーに」を意識していることが感じられ、うれしく思います。また、集団として課題を克服していこうと自分たちで声をかけ合い、主体的に取り組む姿も見られています。普段の学校生活の一日一日を大切にすることで、自治的集団へと成長していこうと頑張っています。

学習では、毎日取り組んでいるアタックタイムの時間を有効に生かし、漢字や計算の力を確かなものへと高めようと取り組んでいるところです。今後は、「自ら学ぶ」姿勢を身につけて中学校へと進学していくことを目指し、自分で自らの課題を見つけて学習を進めていけるよう支援していきたいと考えております。

そこで、学校では家庭学習をスムーズに進めるために「家庭学習のモデル」を各学年で作成しました。(裏面に記載)6年生の家庭学習の目安は70分~80分で、内容は次のとおりです。

<基本の家庭学習(50分程度)>

『音読・国語・算数』



<その日の課題や読書(30分程度)>

『復習プリント、日記、暗唱、英語の復習、社会や理科のまとめなど』

基礎学力定着のために「音読・国語・算数」は毎日取り組みます。この課題を先にやります。次に、その日に出された課題や読書に取り組みます。週末やテスト前は、自主学習として、今の自分に必要な学習に取り組み、苦手なところを繰り返し学習するなど、自ら進んで学ぶ力をつけてほしいと思います。テストはゴールではありません。「自分が学習内容をどれだけ理解しているかを振り返る機会」さらに、「自分の課題に気づき、学習方法がよかったかを考え改善する機会」でもあります。一つ一つのテストをしっかりと振り返り、間違えた問題をリトライし、次のテストではどんな学習方法にしていけばよいかを考え、実践し、次につなげる機会にしてほしいと思います。

これらの課題について家庭学習のキーワードに示した「ていねいに・確実に・最後まで」をめあてにして取り組むことを子どもたちに伝えました。あわせて、家庭学習に取り組む前や取り組んだ後に気をつけるとよいポイントについても子どもたちと確認しました。お子さんの家庭学習の様子を見ていただき、お家の方でも励ましの声かけをよろしく願います

<家庭学習に取り組む前、取り組んだ後、こんなことに気をつけよう>

- ① 決まった時刻、場所でしょう。(帰ったらすぐに)
- ② 周りをかたづけて、集中してやろう。→〇〇しながらの「ながら勉強」はやめよう。
- ③ 答えがあるものは丸つけをし、まちがったところはもう一度やって、直しもしっかりしよう。
→分からないところは、次の日に先生や友達に聞こう。
- ④ すべて終わったら、明日の時間割をあわせよう。(忘れ物ゼロを目指そう)

また、市内中学校の教科担当の先生に教えていただいた小学校のうちに身につけたい力は次の通りです。

【進学までに身につけておきたい力】

☆自分で計画を立て、考え、工夫して学習する習慣を身につける。

[国語] ○漢字を確実に、丁寧に。ことわざ・慣用句を覚える。

[社会] ○都道府県・県庁所在地名、地図記号、地名(山地・河川・平野など)、
歴史上の人物などを覚える。

[算数] ○計算力(速く・正しく・美しく)、小数や分数をしっかりと理解する。

[理科] ○分数・小数の計算、割合・単位量あたりの計算(1あたりを求める計算)

[英語] ○アルファベット大文字・小文字、ローマ字で書き表す力

